

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学Ⅱ		講義	小形 晶子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
本講義は、解剖学の中でも特に作業療法士にとって重要な骨格、関節と靱帯、筋系について理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 骨格の位置や構造、作用を説明できる。 2. 人体の各関節の特性を、安定性と可動性を中心に説明できる。 3. 人体の主要な骨格筋について、位置や構造、作用を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	骨・軟骨組織			
2	筋組織			
3	関節の種類と構造、支持組織			
4	頭頸部の骨格			
5	頭頸部の筋			
6	体幹の骨格			
7	体幹の筋			
8	上肢帯および上肢の骨格			
9	上肢帯および上肢の筋			
10	前腕・手の筋			
11	下肢帯および下肢の骨格			
12	下肢帯および大腿の筋			
13	下腿・足の筋			
14	体表解剖学Ⅰ（体幹、上肢）			
15	体表解剖学Ⅱ（下肢）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	90%			
レポート				
小テスト	10%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
からだの構造と機能		A. シェフラー	西村書店	
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖		三木明德	金芳堂	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				